

常 (目標・努力・発見)

令和2年10月23日
北方町立北方中学校
学校だより 第4号

前期を振り返って

2年生の頃は、呼びかけることによって、自分が相手にどううつのか、声をかけることによって嫌われてしまうのではないかという不安がためらいを生んでいました。それに加えて、相手を意図して傷つけようとしていないにもかかわらず、自分の言葉の選択や口調によって相手を傷つけたり、関係を悪くしてしまったりしたことがあったので、呼びかけするためらいがより強いものになってしまいました。

そんなときに、クラスの仲間が毎回のように呼びかけをしてくれている姿がありました。このままでは、任せっきりになってしまう。自分を変えたいという気持ちとともに、仲間のために何かしたいという気持ちが大きくなり、自分から動いてみようという意志のようなものが、自分の中にわいてきました。

まず、今の自分にできることは何かを考えました。言葉の選択を考えることが一番はじめにできることでした。「どう言えば上手く伝わるだろうか。」考えれば考えるほど、答えが見つかりませんでした。今まで思ったことをあまり考えずに発言していたのだと気付いた瞬間でもありました。そこから周りの子に呼びかけ、グループ、全体と自ら行動することの大切さがわかりました。それでもすべてがうまくいくわけではありません。ただ、自分の姿を振り返ることで、協力してくれる仲間の存在の大きさに気づけたり、真剣に向き合うからこそ、見えてくる成果や課題もあります。

最高学年として、1、2年生の手本となれるような姿を目指して、様々な交流を企画し、動き出しもしています。5組集団では、今、異学年同士のレクも企画しています。そんなふうに、後輩のみなさんと交流する中で、3年生が大切にしている姿を伝えられたらと思っています。

今、私の話を聞いて、どんなことを感じたのかは、一人一人違うと思います。ただ、3年生として、後輩の皆さんに伝えられることがあります。今、頑張ろうとしている気持ちを大切にしてください。動き出すことを恐れなくてください。一生懸命な姿は、必ず相手に届いていきます。そんなことに気づけた前期でした。北方中学校で過ごすのも残り4ヶ月余りです。悔いが残らないように最後までやりきります。

皆さんこんにちは。2年生学級委員長の宮崎です。これから2年生の前期の成果を発表します。僕たち2年生は、学年で集まれない中だけれど、それぞれのクラスで、出来ることを自分たちで考え、楽しいクラスを作り上げることができました。特に、僕は前期の中で企画力を身につけました。僕のクラスでは、学級目標の「結束～一人一人の個性を大切に～」を大事にしてきました。コロナの中で、体育祭や合唱祭などの行事がなくなり、楽しんだり、協力したりすることが少なくなっていました。しかし、2年5組では、このコロナの時期だからこそ出来ることはないかを考え、企画力を生かして、前期の成果、課題をクラスの人達に楽しく、分かりやすく

伝えるために、周りの人を巻き込んで、劇をしました。また、楽しい行事が無くなった分、笑顔をもっと増やしたいという思いから、モノマネをやりたい人を集めて、みんなで、モノマネ大会を企画し、笑顔を増やすことができました。周りの人を巻き込みながらすることで、それが、自分たちにとって大きな力になり、最後には楽しいクラスをつくることができました。

僕たちのクラスだけでなく他のクラスでも、学年で集まれない中で、イントロクイズや先生当てゲームなどを自分たちで企画し、明るいクラスをめざすことが出来ました。

後期からは2年生が生徒会として動いていきます。この企画力を生かして、自分たちで、全校を動かす最高のチームをつくっていきたいです。

2



「常」の姿



【保護者の皆様へ】

10月26日(月)は日直不在のため、緊急時は北方町教育委員会 323-1115 までご連絡をお願いします。